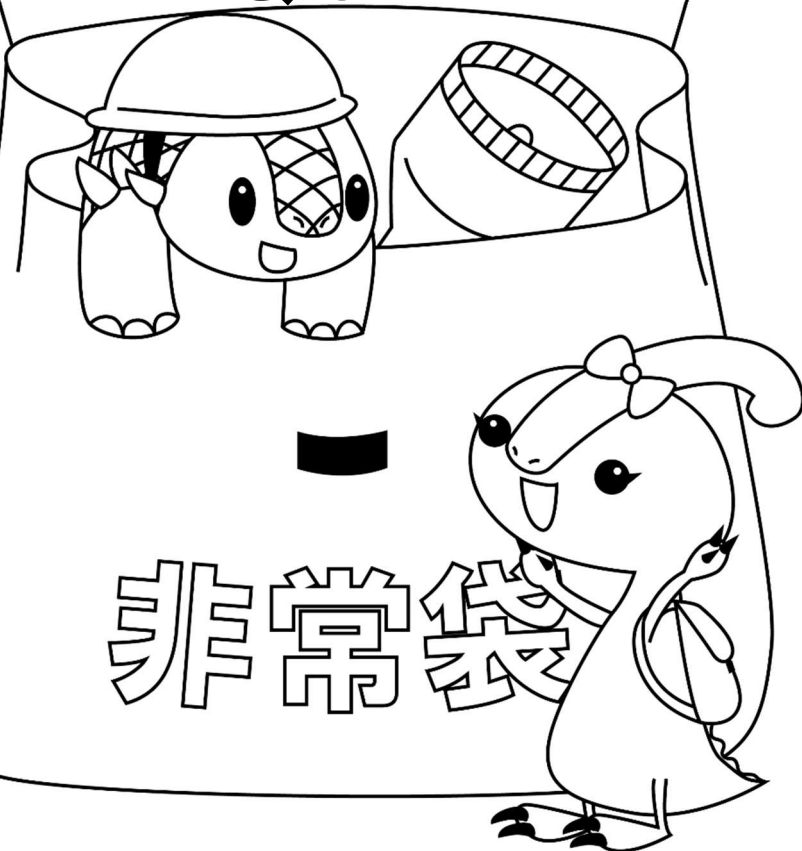


か ぞ く かんが ぼうさい
家族で考える防災

キューアンドエー

Q & A



非常袋

なまえ

もくじ

ぼうさい なんてん

Q-1 : うちの防 災は何 点かな？	2
へや なか	
Q-2 : 部屋の中 でグラッときたら？	3
そと	
Q-3 : 外 でグラッときたら？	4
Q-4 : あるといいものなんだろう？	5
きんじょ し	
Q-5 : 近 所を知ってる？	6
れんらく と	
Q-6 : 連 絡ってどうやって取るの？	8
さいがいじようはいりよしや	
Q-7 : 災 害時要 配 慮 者って？	9
Q-8 : ジシンカミナリカジ〇〇〇？	11
ぶじ かえ	
Q-9 : 無事に帰 るためには？	13
つか	
Q-10 : トイレが使 えないとき、どうする？	14
かぞく はな	
家族で話してみよう！	15
ていでん の	
停電を乗りきるためには？	16
ぼうさい	
防災ゲームをしてみよう	17
ぼうさいたいけん しせつ しゅとけん	
防災体験ができる施設（首都圏）	18



Q-1：うちの防災は**何点**かな？

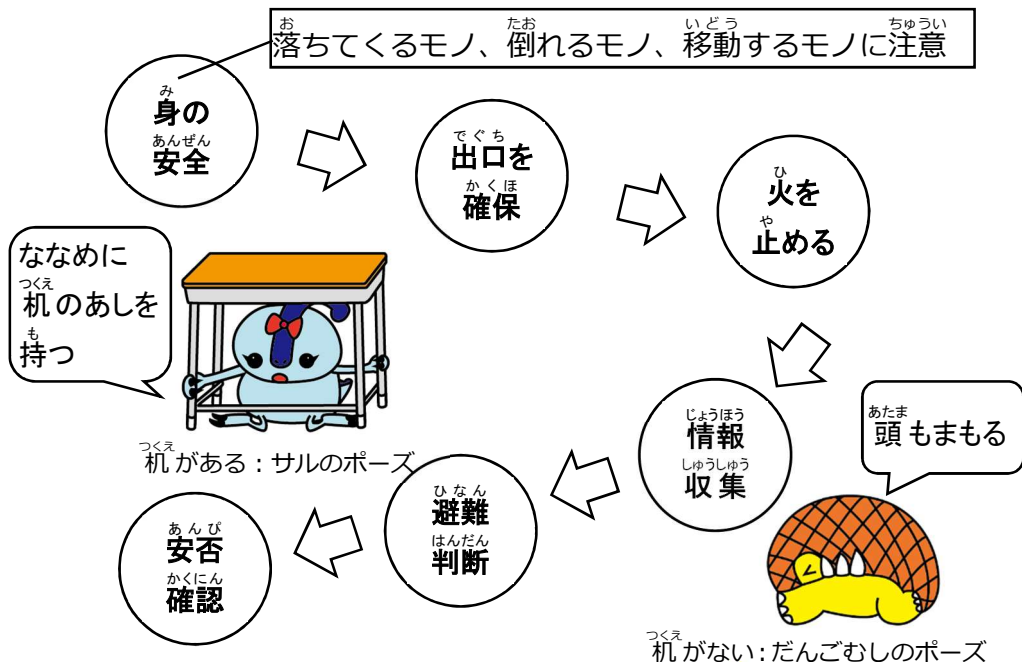
A-1：1項目10点で採点してみよう

家族と電話がつながらないときの連絡方法を決めている	
ハザードマップを用意した	
避難場所と安全な行き方を確認した	
自分の避難バッグを持って避難所や避難場所まで行って みた	
記入した防災カードを持っている	
家具の転倒防止をしている	
食料・水・トイレの備蓄をしている	
近所を歩いて防災マップを作った	
防災訓練に参加した	
防災クイズ・ゲームにチャレンジした	
合計	

100点満点を目指そう！

Q-2：部屋の中でグラッときたら？

A-2：慌てない！取るべき行動と順番を覚えておこう



＜部屋の安全度チェック！＞

- ☐ げんかんしゅうへん へや で い ぐち たお お 玄関周 辺や部屋の出入り口に倒れそうなものを置かない
- ☐ あたま うえ お 頭の上に落ちてきそうなものを置かない
- ☐ せ たか か く かでん き き たお こてい 背の高い家具や家電機器は倒れるので固定する
- ☐ かいちゅうでんとう かくへや お 懐中電灯は各部屋に置く
- ☐ しょうかき ぼしよ かくにん 消火器の場所を確認
- ☐ も だ ちくこう は 持ち出しバッグやドアノブなどに、蓄光シートを貼る

Q-3 : そとでグラツときたら？

A-3 : それぞれの安全行動を知っておこう

- ・ 机、テーブルの下
に入っはいて安全を確保あんぜん
する

がっこう
学校

- ・ 非常口を確認ひじょうぐち
・ 階段から逃げるかいだん
・ エレベーターは使わ
ない

ビル

- ・ 全部の階のボタンを
押おして、最初さいしょに停止ていし
した階で降りる

エレベーター

- ・ 商品棚から離れるしょうひんたな
・ 非常口を確認するひじょうぐち
・ 落下物に注意、頭あたま
をカバンなどで守るまも

みせ
お店

- ・ 自動販売機、ブロッ
ク塀、ビルの壁ぎわ
から離れるはな
・ 頭あたまをカバンなどで
守るまも
・ 落下物に注意らっかぶつ

まちなか
街中

- ・ 停電になっても非常
照明がつくので落
ちついて待つま
・ 非常口サインがどこ
にあるか確認する

ちか
地下

- ・ 急停車に備えて、
つり革、手すりにつ
かかる

でんしゃ
電車バス

- ・ 道路の左側や空地
に停めると
・ キーを付けたまま、
ロックせず逃げるに

車

- ・ 津波警報が出ていな
いか注意するちゅうい
・ 川や低い方には行か
ないかわ
・ 海から離れ、高い
所を目指すうみ

海

Q-4：あるといいものなんだろう？

A-4：表を参考^{ひょう}に持ち出し^{さんこう}マイリスト^もを作ろう^だ

リスト	1 次	2 次	リスト	1 次	2 次
<食物 ^(たべもの) >			<貴重品 ^(きちょうひん) >		
飲料水 ^(いんりょうすい)			現金 ^(げんきん) 、小銭 ^(こぜに)		
食料 ^(しょくりょう)			保険証 ^(ほけんしょう)		
紙皿 ^(かみざら) 、かみコップ			通帳 ^(つうちょう)		
簡易 ^(かんい) ガスコンロ			<便利品 ^(べんりひん) >		
食品用 ^(しょくひんよう) ラップ			懐中電灯 ^(かいちゅうでんとう)		
アルミホイル			と電池 ^(でんち)		
<情報 ^(じょうほう) >			筆記用具 ^(ひっきようぐ)		
携帯 ^(けいたい) ラジオ			軍手 ^(ぐんて)		
携帯充電器 ^(けいたいじゆうでんき)			ヘルメット		
ハザードマップ			ガムテープ		
家族 ^(かぞく) の写真 ^(しゃしん)			新聞紙 ^(しんぶんし)		
<衛生 ^(えいせい) >			給水袋 ^(きゅうすいぶくろ)		
簡易 ^(かんい) トイレ			レジャーシート		
マスク			多機能 ^(たきのう) ナイフ		
きがえ			予備 ^(よび) の眼鏡 ^(めがね)		
マウスウォッシュ			マッチ、ライター		
ティッシュ			防犯 ^(ぼうはん) ブザー、ふえ		
ウェットティッシュ			つかいすてカイロ		
タオル			防寒具 ^(ぼうかんぐ) 、毛布 ^(もうふ)		
ポリぶくろ、レジぶくろ			雨具 ^(あまぐ)		
			風呂敷 ^(ふろしき)		

- 持ち出し^もバッグはすぐ^だに持ち出す^じ 1次^もバッグと、避難^{ひなん}後に自宅^{じたく}に戻り^{もと}改めて^{あらた}持ち出す^も 2次^だバッグで中身^{なかみ}を^{かんが}えておく。
- バッグは1人1つ、背負^せって両手^{りょうて}が自由^{じゆう}になるタイプにする。
- 停電^{ていでん}で銀行^{ぎんこう}やA T Mが使えない^{つか}ことを想定^{そうてい}し、現金^{げんきん}を用意^{ようい}する。
- 避難^{ひなん}所^{じよ}は原則^{げんそく}土足^{どそく}禁止^{きんし}なので、上履^{うわば}きを用意^{ようい}する。

Q-5：近所を知ってる？

A-5：家族や友達と防災マップを作っておこう

<災害時の避難場所>

- ・避難場所（緊急的に避難する場所）：

広域避難場所、一時避難場所、津波避難ビル、水害時避難ビル

- ・避難所（住民が滞在する場所）：

地域防災拠点となり、支援物資が集まる

<危険な場所・もの>

- ・落下しそうな看板やはがれ落ちそうな壁のタイル
- ・ブロック塀や崩れそうな崖
- ・地震時にガラスが割れたら落ちてきそうなビル
- ・引火しやすいものが置いてある場所

<ハザードマップで確認>

浸水	ある ・ ない	深さ	m
津波	ある ・ ない	深さ 到達時間	m 分
液状化	ある ・ ない		
木造密集市街地	ある ・ ない		
土砂災害警戒区域	ある ・ ない		
土砂災害特別警戒区域	ある ・ ない		
災害用井戸	ある ・ ない		

やく
＜役にたつもの＞

しゃしん なに せん ぎんじょ さが
写真は何かな？線でつないでみよう。近所のどこにあるかも探しておこ
う。



こうしゅうでんわ
● 公衆電話



さいがいあんないず
● 災害案内図



さいがいたいおうじはんき
● 災害対応自販機



ひなんぼしょ
● 避難場所



びちくそうこ
● 備蓄倉庫



しょうかせん
● 消火栓



エーイーディ
● A E D

じどうたいがいしきじょうき
(自動体外式除細動機)

Q-6 : 連絡^{れんらく}ってどうやって取る^との？

A-6 : いくつかの方法^{ほうほう}を覚えて、順番^{おぼ じゅんばん}を決めておこう

災害^{さいがい}後は被災^{ひさい}地内^{ちない}同士^{どうし}、被災^{ひさい}地外^{ちがい}からの電話^{でんわ}がつながりにくくなるので、いくつかの連絡^{れんらく}方法を決めておく。

<災害用伝言^{さいがいようでんごん}サービスの種類^{しゅるい}>

大規模災害^{だいきぼさいがい}発生^{はっせい}時には通信^{つうしん}会社の災害用伝言^{さいがいようでんごん}サービスが使えるようになります。

電話^{でんわ}番号^{ばんごう}を登録^{どうろく}して、安否^{あんぴ}連絡^{れんらく}ができるので、事前^{じぜん}に体験^{たいけん}利用^{りよう}で使い方を覚えておくことが大事^{だいじ}です。

体験^{たいけん}利用^{りよう}日^び: 毎月^{まいつき}1日^{いちにち}と15日^{じゅうご}、正^{しょう}月^{がつ}三^{さん}が日^{にち}、防^{ぼう}災^{さい}週^{しゅう}間^{かん} (8/30～9/5)

防^{ぼう}災^{さい}とボランティア週^{しゅう}間^{かん} (1/15～1/21)

災害用伝言 ^{さいがいようでんごん} ダイヤル 「171」	電話 ^{でんわ} 、携 ^{けい} 帯 ^{たい}	登録 ^{どうろく} 件数 ^{けんすう} 20件 ^{けん} 録音 ^{ろくおん} 時間 ^{じかん} 30秒 ^{びょう} /件 ^{けん}
災害用伝言 ^{さいがいようでんごん} 版 ^{ばん}	通信 ^{つうしん} 会社 ^{がいしゃ} の公式 ^{こうしき} メニュー	登録 ^{どうろく} 件数 ^{けんすう} 10件 ^{けん} 登録 ^{どうろく} 文字 ^{もじ} 数 ^{すう} 100字 ^じ /件 ^{けん}
災害用伝言 ^{さいがいようでんごん} 板 ^{ばん} ウェブ 「WEB171」	インターネット 携 ^{けい} 帯 ^{たい}	登録 ^{どうろく} 件数 ^{けんすう} 20件 ^{けん} 登録 ^{どうろく} 文字 ^{もじ} 数 ^{すう} 100字 ^じ /件 ^{けん}

<三角^{さんかく}連絡^{れんらく}法>

遠^{とほ}くに住^すんでいる親^{しん}せきや知^しりあいに連絡^{れんらく}をして安否^{あんぴ}確認^{かくにん}や情^{じょう}報^{ほう}収^{しゅう}集^{しゅう}ができるようにしておく。事前^{じぜん}に誰^{だれ}に連絡^{れんらく}するかを決^きめておく。

安否^{あんぴ}確認^{かくにん}の順^{じゅんばん}番^{ばん}と方法^{ほうほう}

優先 ^{ゆうせん} 順 ^{じゅん} 位 ^い	連絡 ^{れんらく} 方法 ^{ほうほう}	電話 ^{でんわ} 番号 ^{ばんごう}
1番 ^{ばん}		
2番 ^{ばん}		

Q-7：災害時要配慮者って？

A-7:災害時要配慮者とは一般的には高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、日本語が不自由な外国人です。

災害時に一般避難所での避難生活が困難な要配慮者が安心して避難できるよう開設されるのが福祉避難所です。

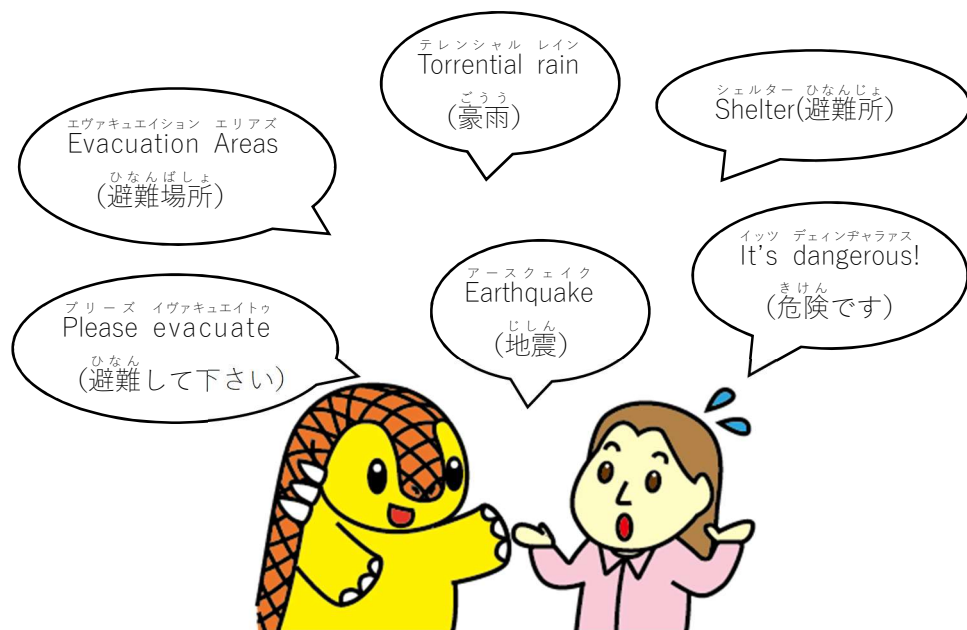
	・車椅子を動かすときには「押しますよ」など、一声かける。 ・右図は耳マークで、聴覚障害をあらわしています。 ・話すときは口を大きく開けて、ゆっくり話す。 ・聴覚障害のある人には筆談や地図を利用したり、身振りで伝える。 ・視覚障害がある人が道路を歩くときは白杖を使います。杖を持つ手と反対側に立つ。 ・話すときは「ここ」などあいまいな言葉を使わず、「右・後ろ」など具体的に話すようにする。 ・右図は白杖 SOS シグナルです。白杖をまっすぐあげたときは特に助けてほしいときです。 ・知的障害や自閉症など、言葉で意思疎通が難しい場合があります。絵や図、メモなどでやり取りをする。コミュニケーションボードを参考にしよう。
	・妊婦さんは、おなかで足元が見えず、小さな段差に気付かないことがあります。一緒にいる人が気を付けてあげる。 ・右図はマタニティマークです。妊婦さんをあらわします。



	・歩くことができる幼児と一緒にの場合、迷子に備えて、名札を付けておく。 ・手をしっかりつないで逃げる。
--	--

	・事前に一人では避難できないお年寄り情報を、町内会や近所の人と共有して、災害時には一緒に避難する体制を検討しておく。 ・持ち出しバッグには、常備薬、おかゆ、スプーン、ストロー付カップ、おくすり手帳も準備しておく。 ・歩けないお年寄りを運ぶには、タンカでは通常4人以上が必要です。折り畳み式のリヤカーが便利です。特に高層階に住んでいる場合、事前に人員と機材を検討しておく。
---	---

○観光で日本に来た外国人は、日本語が分からない、地震の経験のない人がいます。身振りや英語などで説明しよう。



Q-8 : ジシンカミナリカジ〇〇〇 ?

A-8 : 昔^{むかし}はオヤジが怖^{こわ}かった。地震^{じしん}以外^{いがい}にも、雷^{かみなり}や竜巻^{たつまき}、
豪雨^{ごうう}も危^{あぶ}ないぞ



雷 (かみなり)

- ・雷^{かみなり}のときは木^き・電柱^{でんちゅう}から離^{はな}れて、建物^{たてもの}・自動車^{じどうしゃ}の中^{なか}へ逃^にげる。
- ・姿勢^{しせい}を低^{ひく}くして逃^にげる。
- ・雷雨^{らいう}の中^{なか}で傘^{かさ}をさすのは危^{きけん}険。
- ・電流^{でんりゅう}は表面^{ひょうめん}を流^{なが}れるので、建物^{たてもの}の軒先^{のきさき}で雨宿り^{あまやど}は危^{きけん}険。
- ・金属^{きんぞく}やカーボンファイバー (テニスラケット、釣り竿^{つぎお}) に雷^{かみなり}は落^おちやすいので、体^{からだ}から離^{はな}して逃^にげる。
- ・屋内^{おくない}では電話^{でんわ}や電気器具^{でんききぐ}、水道蛇口^{すいどうじゃぐち}、壁^{かべ}、天井^{てんじょう}から1 m以上^{いじょうはな}離^{はな}れる。
(感電防止)
- ・電柱^{でんちゅう}・鉄塔^{てつとう}・煙突^{えんとつ}からは4 m以上^{いじょうはな}離^{はな}れる。
- ・木^きの幹^{みき}・枝^{えだ}・葉^はから4 m以上^{いじょうはな}離^{はな}れる。(側撃雷防止)



竜巻 (たつまき)

- ・竜巻^{たつまき}注意^{ちゅうい}情報^{じょうほう}が出^でたら、すぐ頑丈^{がんじょう}な建物^{たてもの}の中^{なか}に逃^にげる。
- <屋外^{おくがい}では>
 - ・頑丈^{がんじょう}な建物^{たてもの}の中^{なか}に逃^にげる。
 - ・物置^{もの置き}・車庫^{しゃこ}・プレハブ^{はい}には入^{はい}らない。
 - ・飛^とんでくるもの^{ちゅうい}に注意^{ちゅうい}する。
- <屋内^{おくない}では>
 - ・雨戸^{あまど}、シャッター^{まど}、窓^し、カーテン^{まど}を閉^{はな}めて窓^しから離^{はな}れる。
 - ・頑丈^{がんじょう}な机^{つくえ}の下^{した}へ入^{はい}って頭^{あたま}を守^{まも}る。
 - ・窓^{まど}や開口部^{かいこうぶ}の少^{すく}ない部屋^{へや}に移^い動^{どう}する。



大雨（おおあめ）

- ・豪雨時は川や土砂崩れの危険がある所から離れる。
- ・大雨が降る予報があったら、警報に注意する。
- ・住んでいる場所が浸水や土砂災害の危険があるのか確かめる。
- ・外に出る場合は、水につかったとき脱げにくい運動靴をはく。
- ・夜は危険な箇所が分かりにくいので明るいうちに逃げる。
- ・大雨や集中豪雨でがけ崩れ、土石流、地滑りが起きることがあるので、前ぶれを覚えておいて危なかったら逃げる。

<崖崩れや土石流、地滑りの前ぶれ>

- ・高さ4m以上の崖で、小石や土がパラパラ落ちてくる。
- ・雨が止んでも、水が吹き出している。
- ・湧き水や溪流、水路の水が急に増える、濁る。
- ・山鳴りや木の裂ける音が聞こえる。
- ・泥臭い変な臭いがする。
- ・山腹や地面にひび割れ、段差ができる。



火事（かじ）

- ・揺れがおさまってから、消火活動をする。
- ・「火事だ!」と大声を出して、周りに知らせる。モノをガンガン叩いたり、非常ベルがあったら押す。
- ・天井に火がまわったら、すぐに逃げる。
- ・震度5以上の地震発生時には、都市ガスの供給は自動的に止まります。地震発生後、慌ててガス止めなくても大丈夫。
- ・停電復旧後、通電火災が起きることもあるのでブレーカーを落としておく。
- ・火事の煙は上にいくので、タオルやハンカチで鼻と口を覆って吸い込まないようにして、低い姿勢で逃げる。

Q-9 : 無事に帰るためには？

A-9 : 安全帰宅の8か条を覚えておこう

- その1 余震や広域火災の発生もあるので、むやみに移動を始めない
- その2 落ち着いて安否確認（災害用伝言板を使う）
- その3 帰宅の判断（20kmを超えたら帰宅は困難）
- その4 帰れないときは、帰宅困難者一時滞在施設を利用する
- その5 暗くなったら移動しない
- その6 災害時帰宅支援ステーションを利用する
- その7 声をかけあい、助けあう
- その8 危ない場所に注意する→倒壊家屋、壁ぎわ、塀ぎわ、ガラス、落下物、がけ崩れ、津波、火災（風向き注意）など

<帰宅困難者の支援施設>

災害時に水道水、トイレ、情報、休憩の場として提供している。
ステッカーや看板が目印です。

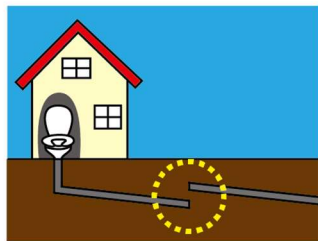
帰宅困難者一時滞在施設	帰宅が可能になるまで、一時的に受けいれてくれる 行政の指定、協定を結んだ施設 （集会場、庁舎、ホテル、学校、ビルのエントランス）
災害時帰宅支援ステーション 	徒歩で帰宅する人を助ける施設 主に沿道にある店舗が協力 ・コンビニエンスストア ・ファーストフード ・ファミリーレストラン ・ガソリンスタンド ・学校、公的機関

Q-10：トイレが使えないとき、どうする？

A-10：非常用(携帯)トイレを準備しておこう

＜水洗トイレが使えないわけ＞

- ・ 水が止まると流せない
- ・ 停電するとポンプが動かない
- ・ 配水管や下水道管や浄化槽が壊れる



大地震があった後、確認しないままトイレを使うと大変な事に！

まずは非常用（携帯）トイレを使うのが原則！

家に用意しておく非常用（携帯）トイレの数を計算しておこう。

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{ひとりいちにち} & \boxed{} & \text{回} & \times & \text{家族の人数} & \boxed{} & \text{人} \times \boxed{} \text{日分} \\
 \mathbf{1人1日} & & & & & & \\
 \\
 = & \boxed{} & \text{個}
 \end{array}$$

非常用（携帯）トイレがなくなったら、ごみ袋 + 新聞紙 or おむつ or ペット用トイレ砂でも作ることができる。

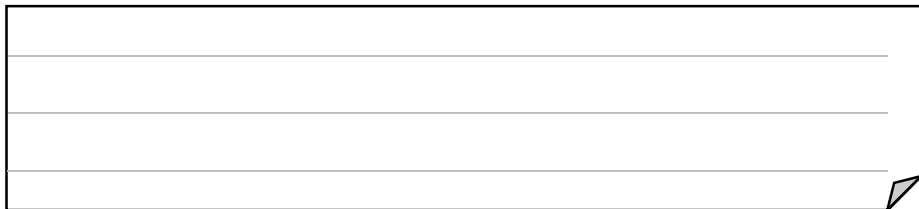
トイレトーパーも普段から余裕を持って買っておく。

水が止まっても手をきれいにできるウェットティッシュも用意する。

マンホールトイレが使えるところもあるので、町内会や公共施設に備えているか確認しておく。

かぞく はな
家族で話してみよう！

お ほうほう かんが
○落ち着く方法を 考 えておこう



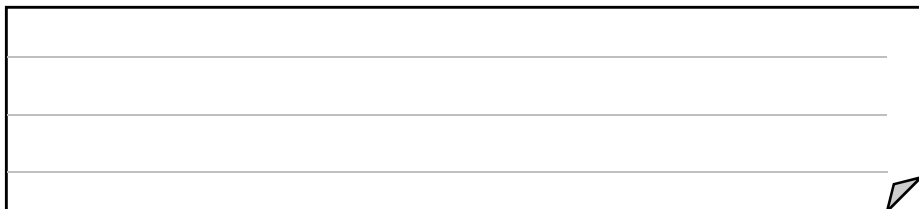
たよ ひと
○頼りにしている人は？



げんき た
○元気が出る食べ物？



も に たからもの
○これだけは持って逃げる宝 物 は？



ていでん の 停電を乗りきるためには？

せいかつ ひつよう でんき つか か かんが
生活に必要なもので電気を使うものの代わりを 考 えておく。
かいちゅうでんとう か く へ や く た
懐 中 電 灯 は 各 部 屋 に あ る と 役 に 立 つ。

あかり	
しょくじ あたた 食事を 温 める	
トイレ	
じょうほう 情 報	

<ヒント>

てまわ
手回しラジオ、ランタン、ヘッドライト、たいようこうはつでん 電気自動車
カセットコンロ、カイロ、かんい 簡易トイレ、じゅうでんき 充電機、でんち 電池

<その他>

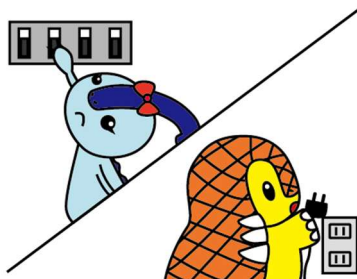
- ・お皿の代わり→しんぶんし 新聞紙+サランラップ、ビニール ぶくろ 袋
- ・コンロの代わり→か ぎゅうにゅう 牛 乳 パック+あきかん 空缶
- ・電灯の代わり→でんとう 懐 中 電 灯 + ペットボトル

<つうでんかさい 通電火災>

- ・ていでん 復 旧 したとき、ふっきゅう 電気ヒーターやアイロン、でんき ドライヤーのスイッチがはいりっぱなしだと火災がくさいおきることがあります。

※ていでん じ 停電時にしておくこと

- ・ブレーカーをお 落とす
- ・コンセントをぬ 抜いてか じ 火事を ぶせ 防ぐ

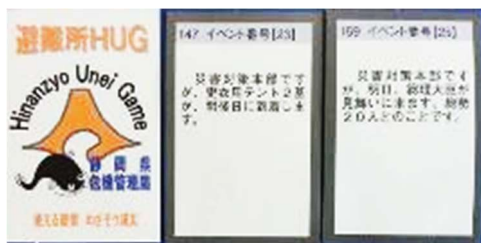


ぼうさい

防災ゲームをしてみよう

ハグ ひなんじょうんえい
HUG（避難所運営ゲーム）

ひなんじょう ounえい もぎたいけん
避難所の運営をする模擬体験
ゲームです。避難所での生活を
ぐたいてき ひなんじょう せいかつ
具体的にイメージしたり、何が
かんが なる
できるかを考えます。



クロスロード



さんかしや だ ちんたい
参加者は、出された問題について YES か
NO のカードを出します。どうしてそのカー
だ はな さいがいたいさく き
ドを出したのかを話して、災害対策を決
ひつよう じょうほう じょうけん りかい
めるために必要な情報や条件を理解しま
す。

ディグ
DIG

おお ち ず かこ か
大きな地図を囲んで、みんなで書きこみ
くわ
を加えながら、ワイワイと楽しく話しあ
て、防災対策を かんが
を考えます。

しょきゅうへん ちゅうきゅうへん おうようへん わ
初級編、中級編、応用編に分かれてい
ぐたいてき じぶんたち す まち ぼうさい
て、より具体的に自分達の住む町の防災の
ことを知ることができます。



ぼうさいたいけん し せつ しゅとけん 防災体験ができる施設（首都圏）

さいたまけん 【埼玉県】

さいたまけんぼうさいがくしゅう

埼玉県防災学習センター「そな一え」

し ぼうさい ぼうさいてんじ
さいたま市防災センター防災展示ホール

か す か べ し ぼうさい てんじ
春日部市防災センター展示ホール

いるまとうぶちくしょうぼうくみあいぼうさいかん
入間東部地区消防組合防災館

さ や ま し ょ う ぼうし ょ ぼうさいたいけん
狭山消防署防災体験コーナー

しゅとけんがいかくほうすいろ さいりゅう かまち ていたんけん りゅうキューかん
首都圏外郭放水路 彩 龍の川地底探検ミュージアム 龍 Q 館

ちばけん 【千葉県】

ちばけんせいぶぼうさい

千葉県西部防災センター

とうきょうと 【東京都】

とうきょうし ょ う ぼうし ょ う と み ん ぼうさいきょういく
東京消防庁 都民防災教育センター

いけぶくろぼうさいかん
池袋防災館

ほんじょぼうさいかん
本所防災館

たちかわぼうさいかん
立川防災館

しょうぼうはくぶつかん
消防博物館

とうきょう どうきょうりんかいこういきぼうさいこうえん
そなエリア東京（東京臨海広域防災公園）

ぼうさいたいけんかん
しながわ防災体験館

とうきょうときたくぼうさい じしん がくかん
東京都北区防災センター（地震の科学館）

きしやうし ょ う きしやうかがくかん
気象庁 気象科学館

かながわけん 【神奈川県】

よこはまし ん ぼうさい

横浜市民防災センター

かながわけんし ょ う ぼうさい
神奈川県総合防災センター

ぎじゅつし 技術士ってなんだろう？

パンフレットがあるので見てね！

技術士って？

けんさく
検索

ぎじゅつし 技 術 士 っ て ？ ～これが技術士の世界～

「ぎじゅつし技術士」という仕事がありますが、みなさんは知っていましたか？

私たちの社会は、さまざまな科学技術きぎょうによって支えられることにより便利で快適な生活が送れるようになっています。「技術士」は、科学や技術の能力を持ち、その能力を活かして社会のために働く「技術者」のな

かで、国の試験を受けて合格ごうかくした人だけが使うことができる名称めいしょうです。みなさんの毎日の生活のなかで「技術士」に出会うことはあまりないでしょう。しかし身近なところで技術士の世界にふれていると思います。そんな技術士の世界を、技術士の山田さんに代表して説明してもらいましょう。

ぼく健太、6年生。
今日は、お父さんの
友達の山田さんに
会いに来たんだ。
山田さんは「技術士」
なんだって。
どんなお仕事を
しているのかな？
いろいろ聞いてみよう。

健太くん

千晶ちゃん

わたし、千晶、5年生なの。
「技術士」は国家資格で
すごく難しい試験に合格
した人だけがなれるって、
お父さんから聞いたわ。

ハハハ、
健太くん、千晶ちゃん、
いらっしゃい。
よく来てくれたね。
今日は、「技術士」の仕事に
ついて、君たちにいろいろ
教えてあげよう。

技術士の山田さん

発行 公益社団法人 日本技術士会 防災支援委員会
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
Tel: 03-3459-1331(代表) Fax: 03-3459-1338
E-mail: bousai@engineer.or.jp